

安全・安心・住みよいまちづくり

# ネットワーク

## 第17号

発行日 平成26年2月20日

発行 白石地区  
ネットワーク協議会

責任者 情報交流部会長  
菱沼洋一郎

札幌市白石区本通1丁目南2-32 電話 861-8270



## 第10回白石地区 いきいき健康まつりを終えて

● 体育振興部会 坪田 敏男

第10回目を迎えた白石地区いきいき健康まつりも、9月1日（日）、300名を越える参加のもと、盛會に無事実施されました。

開催にあたり、準備運営全般に渡り、単位町内会を始め、連町、ネットワーク関係各種団体の皆様の多大なご協力により事業を終了する事が出来、ご協力、ご支援に心より感謝とお礼を申し上げます。

今回は、内容の一部を見直して、健康体操整体コーナーをふまねっと体験コーナーにして、健康増進と介護予防も兼ねた体験を、インストラクターのボランティア応援を頂き、多くの方々に短い時間でしたが、軽く汗をかいて頂きました。

また本年も、我がまちの歴史の一端を学ぶ“白石歴するベウオーキング”が白石の歴史を語る会の藤森さんの企画により、一層充実した内容で、参加者のご好評を頂き、大変有意義でした。

ストレッチ体操、体力測定、健康介護予防、ニュースポーツ、昔あそび、キッズコーナーなど、各コーナーも楽しく体験して下さい、屋外ではペタンク競技も実施し、思い出のひと時を過ごして頂いた事と思います。

今後もより一層充実した内容で、多くの地域の皆さんに参加して頂き、白石地区いきいき健康まつりが実施されます事を期待致します。



■ ストラックアウト



■ インドアパークゴルフ風景



# 福祉推進委員会の 見守り活動

● 白石区本通親和会 会長 白石 俊信

私たちの町内会では、昨今のいわゆる孤立死問題が大きな社会問題となったのをきっかけに、平成24年4月に町内会の下部組織として福祉推進委員会が発足し、同年4月から見守り活動を行っています。

原則として70歳以上の独り暮らし世帯や夫婦世帯で病弱な家庭を対象としており、地域ぐるみで取り組んでいます。活動内容としては、初年度は緩やかな活動から始めることとなり、さりげなく外からそっと見守り、声かけが中心でしたが、2年目の本年度からは民生委員との連携のもとに必要に応じて家庭訪問するなど、ステップアップを図りました。

ちなみに、訪問活動となりますと、訪問の目的を明らかにするとともに、対象者との信頼関係を築く必要があります。このため、きっかけづくりの一環として「緊急時連絡カード（携帯用を含む）」や「見守り箱」を面談の上、配備して緊急時に備えることとしています。このことは、いつでも気

軽に「SOS」を出せる地域づくりと第一発見者の迅速な対応を目指していますが、併せて前述のような副次的な効果を期待しているものです。

また、昨年11月には見守り活動の先進地・西区山の手第17町内会福祉推進委員会を視察し、意見交換会を行いました。私たちの取り組みは2年目ですが、活動内容は未だ発展途上にあり、試行錯誤を繰り返している現状ですので、大変貴重な学習の機会になったと思っています。

私たちの見守り活動には多くの課題がありますが、今後とも地道な活動を続け、誰もが安心して暮らせるよう、更に地域の福祉力を高めたいと考えています。



■ H25.10.15 福祉推進委員会・意見交換会



■ H25.11.13 視察、意見交換会 山の手第17町内会福祉推進委員会



# ～今こそ求められています 「見守り活動」の現状～

● 南郷友和会 福祉厚生部〔福祉推進委員会〕部長 織田 豊

平成25年9月20日（金）白石会館に於いて地区社協・福まち推進センター主催による「福祉推進委員会活動交換会・交流会」が開催されました。当日は南郷友和会福祉厚生部「福祉推進委員会」が、いままでの「見守り活動」の取り組んできたことを、事例発表をしました。講師として白石区社会福祉協議会、佐藤 朋紘様より講話があり、大変勉強になりました。

なお、当日は町内会、福祉関係、民生委員、福まちセンター等75名出席されました。

【見守り活動】を推進し、潜在する問題等に「気づいて」「受け止めて」関係機関に「つなぐ」仕組み作りを趣旨とし、一昨年前より準備を進め、昨年より本格的に取り組んでいるところです。



■ 事例発表する織田氏

支援活動の体制に当たっては、町内会役員で構成する福祉推進委員を福祉厚生部に置き委員会則を策定しました。

更に、「見守り活動」の趣旨を理解し、福祉ボランティアに協力してくれる方を町内会回覧版を通して、募集しております。

対象者70歳以上とし、敬老名簿、民生委員の協力より「支援を必要とする方」の名簿を作成し、それに基づき「見守り活動」趣旨や内容については文書に希望項目添付し「同意書を作成」【直接個別訪問】し、本人に説明「不在者には郵送」し、同意書の選択項目を名簿に明記しました。また、名簿に基づき

要支援者対象及び活動者（福祉推進委員）メンバー全員で、住居の位置を一目で解るように南郷友和会【福祉マップ】を作成し「活動担当者」をきめました。

見守り活動に当たっては活動の経過を記録するための「見守りカード」保管するための基本データである「ふれあいカード」を作成しました。

見守り活動をしている中で一人暮らしになっての要望も含め

①隣近所付き合いがなく不安、寂しい

②体の障害によるごみ出しにこまっている、冬の除雪等日常生活の不安を抱え、見守り活動への期待が高く、高齢化社会を迎える今こそ安心、安全に暮らせる地域社会が求められています。

住民の参加、協力をえるため町内会が先頭に立って福祉推進委員会の活動状況を周知し地域全体の活動につながることを期待し頑張っていきたいと思えます。



■ 支援者に同意書の説明する推進委員



■ 見守り高齢者の福祉マップ作成



# 札幌市三世代交流協会 活動報告

● 白石ばらの会 会長 藤林 照子

白石ばらの会は伝承昔遊びの会として、平成10年に前会長より引継ぎ15年の歳月になります。

札幌市三世代交流協会として、各区にそれぞれ名称が違っていても昔遊びを親子三代にわたって伝承させていくことを目標に活動していますが、このボランティア活動になかなか会員に成り手がなく又、高齢者で亡くなったり、リタイアされる方がいたりして運営することができなくなり、白石ばらの会の様な活動をしている所が少なくなっている現状です。

昔遊びと一口にいても数え切れないほどの種類があり、発生を辿っていくと江戸時代迄さかのぼる物もあり、私達がTVのなかった子供の頃に遊んでいた遊びも、今忘れかけているものが数多くあります。

今の子供達のゲーム遊びより昔遊びの一つ一つが奥深く、頭や手足を使い、友達との繋がりを深めるものがあつたとつくづく考えている事もあります。

白石ばらの会として行く所は、白石区内を中心に保育園、幼稚園、小学校、児童会館、老健施設、

短大、各町内会行事、区のマラソン大会等の行事に依頼されて行きます。

持参するものは、竹馬・輪まわし・コマ・ケン玉・お手玉を初め、17・18種類のもので幼児から高齢者迄の方と一緒に楽しんでおります。

最初、コマの紐を巻けなかった子も帰る頃には、廻せる様になり喜んでいる姿を見ると疲れも忘れて帰路につくことが出来ます。

子どもたちと時には汗を流しながら楽しみ、子どもたちの若い活力をもらい、私達が元気になって帰ってくることで今日迄続けられていると思っています。

短大の保育科の卒業間近な学生に昔遊びの授業を、小学3年生にガリガリトンボ、ちえの輪等の昔遊びの遊具作りの指導にゲストティーチャーとしても毎年参加もしております。

高齢者の一人として昔遊びを通して大きなことはできませんが、未来を担う子どもたちの明るい笑顔に会うのを楽しみに、次回の活動先の準備をしている毎日です。



■ コマ遊び



■ お手玉あそび



# ～平成25年度 白石地区環境衛生研修会の開催について～

● 地区連合町内会 環境衛生部 部長 坂田 一次

平成25年12月10日（火）白石会館に於いて白石地区連合町内会、環境衛生部の主催により、ゴミ問題に関する研修会を開催しました。

冒頭、連合町内会副会長 白石 俊信氏の挨拶があり、この後、3部門に分かれ私ども共通の悩みでゴミステーションの問題について意見交換を実施しました。

## ①講 話「白石区のゴミ処理の状況について」

講 師 普及担当係長 松本 嗣敏様

札幌市（白石区）を清潔で住みよい街にしましょう！地域のリーダーとしてご活躍を期待しています！とのお話がありました。

また、その後、ゴミパト隊の方から、スライドを使ってゴミステーションの改善事例の紹介がありました。

## ②事例発表「共栄町内会の取り組みについて」

発 表 者 共栄第一町内会 会長 永原 健吾氏

不適切な排出の中で、共同住宅入居者による違反ゴミ排出が多い場所は、立会指導する等、行動なくして結果は出ません。長時間を費やし解決までの意思疎通には、非常に困難の連続でありますが、今後も引き続き環境部を中心に町内会役員の方々と協力して、環境美化等を重点的に取り組んでいきたいと考えます。

## ③意見交換 【白石地区内地域の課題について】

4ブロック（中央・本通・共栄・南郷）に分かれゴミパト隊の方々を交え参加者と意見交換を実施しました。

☆各ブロック共通の課題

- ❖ 不適切排出によるゴミ処理
- ❖ アパート（共同住宅）のゴミステーションの推進
- ❖ ゴミステーションの新設・移設問題
- ❖ プライバシーの侵害（トラブルの原因）

❖ ゴミステーションの管理の困難（特に冬場）

清掃事務所の職員13名の方々の説明、また、永原会長の発表は、今までに無い熱気に溢れたものでした。問題の解決に向けて、参加者一同熱心に取り組み、予定時間を超す、長時間の研修会を終えることが出来た事に、その成果は格段の重さが見受けられたことを確信した次第です。



■ ゴミ処理の現状を説明する松本係長



■ 熱心に永原会長の発表を聞く参加者



■ ゴミパト隊と参加者の意見交換



# 寒くたって子どもは元気

## 第9回「白石・雪であそぼうin南郷」

● 白石地区ネットワーク協議会 青少年女性部会 部会長 松本 弥生

これまで南郷小学校グラウンドをお借りして行っていた「白石・雪であそぼうin南郷」ですが、校舎改築工事中のため、会場を南郷丘公園に変更して、平成26年1月9日に行いました。

実行委員・協力員は、ネットワーク協議会青少年女性部会のメンバーを中心に地域の各団体から選出していただいております。毎年連続で協力

されている方も多く、経験を

生かして臨機応変に対応してもらっています。また、学生ボランティアとして、白石中・柏丘中・クラーク高校から参加し、若いパワーを生かして、大活躍してくれました。

参加者数は、付き添いの大人124名、小学生98名、幼児211名、学生ボランティア36名、役員35名の合計504名で、昨年の356名より大幅に増加しました。

イベントの内容は、例年通り、汽車ごっこ、色雪遊び&雪像づくり、そりすべり、サッカー、スノーフラッグ、かるた、ストラックアウト、輪投げ、かけっこをしました。今回新たに、お口にポン、お相撲さんのコーナーを設置しました。今年は色雪遊び&雪像づくりコーナーが大人気で、女子学生ボランティアの対応が上手で好評でした。



■ ストラックアウト

最後に、みんなで豚汁をいただきました。寒い日でしたが、おいしくて温まり、さらに笑顔になりました。

1月23日の実施報告会では、来年はよりよいイベントになるように意見を出し合いました。参加者・協力者の皆様、ありがとうございました。



■ 雪だるま作り



## 第6回「まちづくりふれ愛音楽会」 楽しい音楽会で終了

● 白石地区ネットワーク協議会 情報交流部会 部会長 菱沼洋一郎

第6回「まちづくりふれ愛音楽会」は白石地区ネットワーク協議会と白石地区連合町内会の主催で、さる平成25年10月5日（土）白石中学校体育館を会場に開催され、500余名の来場があり無事終了いたしました。

早いもので「まちづくりふれ愛音楽会」も今年で6回目を迎え、ますます地域に愛されるイベントとなってきました。出演した各学校の皆様からも、このイベントに参加することを楽しみにしているとの言葉をいただき大変嬉しく開催してよかったと思っております。

出演はプログラム順で「南白石小学校合唱団」今回で5回の出演ですが、昨年NHKコンクール札幌大会で銀賞を受賞された見事なハーモニーを披露してもらいました。次に「白石小学校スクールバンド」第1回から毎回出演しており、「ルパン三世のテーマ」で始まり「行くぜ！怪盗少女」まで4曲の演奏はダンスを交え楽しく素晴らしいものでした。「南郷小学校金管バンド」も毎回の出演をされており、狂想曲「フニクリ・フニクラ」他4曲を40名が日頃の猛練習の成果を十分発揮され楽しい演奏でした。「白石中学校吹奏楽部」も毎回の出演をしております。一昨年まで3年連続で全日本吹奏楽コンクールに出場してきたのですが、昨年は大会規定のためこのコンクールには参加できず残念でしたが、昨年8月山梨県で行われた「国民文化祭」に参加され全国的にも白石中学校の実力が広まりました。今回は「童謡メドレー」、「銀

河鉄道999」などいつものパフォーマンスを交え、その力強い演奏は多数の観客を魅了しました。

「札幌月寒高校マンドリン部」は創部60周年を数える記念の年に出演いただきました。また昨年6月に行われた高文連石狩支部演奏会で最優秀賞、釧路で行われた全道音楽大会に於いても最優秀賞に輝き、今年7月に行われる全国大会に駒を進める事に成った実力を聞くことが出来、マンドリンの「インザムード」他4曲の演奏は静かで、力強い音色は来演者を十分魅了いたしました。

今回出演頂きました各学校の皆様には素晴らしい演奏を披露されありがとうございました。運営面で何かと十分では無かったと思いますが、この音楽会を今後とも継続いたしたいと思っておりますので、是非次回もご出演のほどよろしく願いいたします。

最後に毎回会場を提供されました白石中学校の皆様、白石地区連合町内会、白石地区ネットワーク協議会の方々、前日、当日の準備整理、運営にとご尽力いただき大変感謝致しております。



■ 札幌月寒高校マンドリン部



■ 南白石小合唱団



■ 白石中学校吹奏楽部

## ふらっとホーム2013 inしろいし ～市長とお話しませんか～ わがまち～白石地区から参加しました

● 白石地区連合町内会 副会長 木村 幸男

日 時 平成25年10月12日（土）10時～12時  
会 場 白石会館

例年白石区民センターを会場として開催されていた「ふらっとホーム～市民と市長の2時間談義」が、今年度は、白石会館で開催されました。参加者は、抽選で選ばれた白石区民8人であり、私もその一人として参加させていただきました。

今回のテーマは、次の3点で、参加した市民が、上田市長と直接議論しました。

1. ごみ出しマナーに関すること
2. 交通ルールに関すること
3. 除雪に関すること

また、参加者からは、このテーマのほかにも「町内会など地域のまちづくり」や「防災・安全対策」など各地域で抱えている諸問題を提起し、市長との活発な意見交換が行われました。

私も、白石地区の住民として

- (1)ごみマナー違反の実情とその対応、並びにマナー向上に取り組む町内会の活動について意見を述べるとともに、
- (2)サイクリングロードが、現在自転車だけでなく、散歩やジョギングなどの健康づくりのために広く使われている現状を踏まえ、歩行者にも配慮した名称に変更すべきではないかなど、日頃考えていることをお話ししました。

あつという間の2時間でしたが、私自身が市長と直接対話するという大変貴重な経験をさせていただきました。



■ 市民と市長との懇談会風景

## 行事予定

2月25日（火）

白石地区ネットワーク協議会運営委員会  
於：白石会館

4月26日（土）

白石地区連合町内会総会  
於：白石会館

4月

通学パトロール開始（小学校5校）

4月9日（水）

交通安全「早朝街頭啓発」 藤光鋼材前

5月8日（木）

白石地区社会福祉協議会総会  
於：白石会館

5月16日（金）

白石地区ネットワーク協議会総会  
於：白石会館

5月12日（月）

交通安全「早朝街頭啓発」 グランドパチンコ前

5月下旬

青色回転灯装備車連絡協議会（青パトの会）  
定期総会 於：白石会館

## 編集後記

本年度最終号となりました。今年は大変雪が多くまた、寒さも例年になく厳しいようですが皆様にはご苦勞のことと思います。今年も「ネットワーク」発行に際し皆様のご協力のもと今号も無事発行にいたる事が出来ました。感謝致します。今後も地域に於ける課題、まちづくりに対する情報、ご意見などがありましたらご連絡お待ちしております。

情報交流部会一同